

# あたるレポート

2022年04号

千葉市議会報告

千葉市議会議員(若葉区選出)

# 秋山あたる

未来立憲民主ちば会派



mail : [info@akiyama-ataru.com](mailto:info@akiyama-ataru.com)  
web : <https://akiyama-ataru.com>

秋山あたる

発行元：秋山あたる後援会  
〒264-0005  
千葉市若葉区千城台北3-3-10 シティハイムチシロ 102  
電話番号 050-1065-5394

## 政策・理念 福祉・健康・安全

私は、若葉区をより豊かな街にするための3つの政策「生活・地域」、「教育・文化」、「福祉・健康・安全」、+α「SDGsの普及・推進」を掲げています。

### 少子高齢化のモデルケース

千葉市の中で最も高齢化率が高く、4つに分かれた圏域の高齢化率や、地域課題の内容や特徴に大きな差異があることも若葉区の特徴です。

日本の少子高齢化のモデルケースになるべく、「**支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ**」の理念を踏まえ、「**だれも**

**がいきいきと暮らせるしあわせのまち 若葉区**」を目指し、介護を無くす健康づくり、コミュニティづくり、安心・安全なまちづくりを目指します。

市議会議員活動をより多くの方に知って頂き、私個人のみならず千葉市議会への信頼と期待を頂けるよう市議会報告してまいります。

ご意見や感想をお待ちしております。誰もがわかりやすい市政に努めてまいります。地域のために小さなことでもお気軽に声をかけて頂けたらと思います。

## 秋山あたる

## 千葉市議会一般質問をしました。

### 01 グリーンツーリズム

令和3年 第2回千葉市議会定例会・一般質問



「チバノサトロゴ」：若葉区と緑区を横断する街道とその周りに広がる自然の景色を表現しています。

若葉区・緑区による自然豊かなグリーンツーリズムが楽しめるエリアの名称「チバノサト」とロゴマークが決定しました。チバノサトエリアの中心となるウシノヒロバが令和2年10月にプレオープンし11月にはキャンプ場が開設されました。令和3年4月に本格オープンし、ロッジなど施設の魅力が向上、マルシェでは地元農産物の販売するなど、コロナ禍でキャンプ、グランピングなどのアウトドアの需要の高まりで人気スポットとなっています。

課題は、①都心から近いことがかえって豊かな自然を楽しめる地域のイメージにつながらない。②各拠点があつち、拠点をつなぐ交通網がないため周遊がしにくいなどが挙げられます。

### 秋山あたるの提言

**提言1**：訪れた人々がワクワクして各拠点へ迎えるような道のりの景観を整備する。

**提言2**：周遊交通網の整備のため、バス、レンタルサイクル、サイクリングコース、モノレールなどの各事業者との連携を促進する。

**提言3**：SNSでの情報提供と同時に県との連携により県内外へのPRを行い、チバノサトの認知度をあげることが必要。

### 「持続可能な観光」

グリーンツーリズムは豊かな自然をもつ静かな農村・漁村地域で自然・文化・史跡・人々との交流を楽しむ体験滞在型余暇です。

環境破壊に対する問題解決のための行動意識を発信するなど千葉市の特徴をいかしたグリーンツーリズムを目指し、地域の観光資源の成長に繋がりたいと考えています。



## 秋山あたるプロフィール



1991年10月9日生まれ 千葉市出身  
2004年 千葉市立更科小学校卒業  
2007年 千葉市立更科中学校卒業  
2009年 アメリカ・シルバード公立高校交換留学  
2011年 千葉県立千城台高等学校卒業  
2013年 ワタナベエンターテイメントカレッジ卒業  
2019年 **千葉市議会議員選挙(若葉区選出)**  
**27歳で初当選 4,321票**

2019年度 保健消防委員会  
2020年度 総務委員会 環境審議会委員  
2021年度 都市建設委員会 都市計画審議会委員  
広報委員会委員  
2022年度 環境経済委員会 副委員長  
【その他】  
舞台・朗読劇で松方弘樹氏や若林豪氏と共演  
千葉県テニス選手権・ダブルス 優勝



# 02 トイレは命を支える社会基盤サービス 防災について

令和3年 第2回千葉市議会定例会・一般質問

令和元年9月9日明け方、千葉市付近に上陸した台風15号で電柱2,000本が折損し、県内は64万軒が停電、千葉市では最大9万4,600軒の停電が発生しました。若葉区や緑区を中心に倒木や飛来物などにより立ち入れない場所が多く発生し被害現場の特定に時間を要したことから、電力の復旧まで10日間を要しました。

災害が起きた際にながってくる問題の一つとして、トイレの問題があります。電気、水道、下水道のいずれの一つでも断たれると家庭用トイレは使用できなくなります。

災害時のトイレが不衛生であるため、不快な思いをする被災者が増え、トイレの使用がためらわれることによって、排泄を我慢することが水分や食品摂取を抑えることにつながり、被災者においては、栄養状態の悪化や脱水症状、エコノミークラス症候群などの健康障害を引き起こすおそれがあります。

## 千葉市の災害時のトイレ対策

千葉市では、国のガイドラインを参考に令和5年度末までに千葉市地震被害想定調査における避難者50人当たり1基の確保を目標にマンホールトイレや携帯トイレなど、災害用トイレの整備を進めています。



## 現状の課題

- ①コロナ禍において感染症対策として、指定避難場所に避難者が集中しないよう分散避難を推進しているが、町内自治会集会所や車中泊などでの災害用トイレの確保ができない。
- ②マンホールトイレは、下水道が破損すると使用できないデメリットがあります。  
震災時には液状化現象によりマンホールが飛び出す現象などで下水道の使用ができないことも想定されます。



「君津市が導入したトイレトレーラー」  
広々とした個室洋式トイレ4室、感染症対策として殺菌灯を各室に設置。室内暖房用燃焼式FFヒーターや凍結防止電熱線を備えている。ソーラーパネル・充電式バッテリー搭載で外部電力との接続で被災直後の断水下から長期避難生活で衛生的なトイレの提供が可能です。令和元年の房総半島台風では富士市、刈谷市、西伊豆町のトイレトレーラーが君津市の被災現場へ派遣されました。

## 秋山あたるの提言

君津市のトイレトレーラーを視察し、千葉市での導入を検討することを提案しました。

1. 衛生的なトイレが自由な場所に設置できる。近隣自治体にも派遣できるため、具体的な支援につながる。
2. クラウドファンディング・ふるさと納税を活用し、資金面での補助をしていただきながら、市民の社会貢献への取組が目に見える形で表現されていること。
3. 平常時にはイベント等で使うことができ、同時に市民への防災の啓発活動に使うことができること。  
衛生面でしっかりしているトイレは精神的に安らぎ、ストレスが軽減された状態で避難生活を過ごすことができます。

# 03 部活について

令和3年 第4回千葉市議会定例会・一般質問

## 学校の部活動がなくなる？

公立中学校の部活動を学校から地域のスポーツクラブなどに委ねる「地域移行」が動き出しています。学校から地域に部活動が移行される背景には、以下のようなことが挙げられます。

1. 中学校教員の負担を軽減する取組  
休日の部活動を指導する中学校教員は1ヶ月あたり平均13時間の休日出勤をしています。長時間労働の一つの要因となっています。
2. 少子化により子どもの数が減り、競技によっては人数不足で部活動が成立しなくなっている学校があります。
3. 専門的な知識・経験を持った指導が期待できます。

## 秋山あたるの提言

生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動と学校教員の働き方改革の両立を期待して以下提言をしました。

- ①部活動で大会があるかないかで、生徒のモチベーションも大きく変わってくるので、大会の運営が行われる方法を検証し現場感覚の意見を国にフィードバックすること。
- ②地域の格差、家庭の経済状況の格差が休日の子供たちのスポーツ活動の格差につながらないように、財源の確保など十分に協議すること。
- ③部活動指導員、民間指導者を部活動へ派遣する業務について、地域スポーツ関係者をつなぐ「コーディネーター」を置き各スポーツ関係団体との連携を深めること。

## 秋山あたる後援会より

### ご支援・ご協力をお願い

秋山あたるは、「若葉区を千葉市を誰もが住んでよかった!」と感じるまちづくりを目指しています。

秋山あたるを応援いただける方は、

右記「秋山あたる公式サイト・サポーター登録」へのQRのリンクから登録、または事務所までご連絡していただき、ご意見やコメントをお寄せください。



## 「幹を強くする千の葉の会」

千葉県知事熊谷俊人氏と連携する市町村議員が新たなネットワークで千葉県の特徴を活かし、更に伸ばしていくことを目指す団体です。秋山あたるは事務局の中心として積極的に参加しています。

